

使用上のご注意・サポートガイド

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に本書の表・裏をよくお読みになり正しく安全にお使いください。製品固有の注意事項が他のマニュアルに記載されている場合があります。その内容もお守りのうえ製品をご使用ください。

また、保証書裏面の「保証規定」をよくお読みください。

重要保管

本書は必要なときすぐにご覧になれるようお手元に保管してください。

安全上のご注意

人への危害や財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害を分けて示しています。

警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

注意

軽症を負うことや財産への損害が生じる可能性がある内容です。

◆お守りいただく内容を図記号で示したうえで説明をしています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない指示です。

■本体について(内蔵バッテリーパックを含みます)

警告

ACアダプターを使用するときは、ACアダプターのプラグが届く、電源コンセント付近で本機を使用する。
「ACアダプターのプラグを抜く」が必要がある事が万一発生したときに、すぐに実施できないおそれがあります。

本機の変形・割れによる内部露出、発煙、異常、異常音、触れないとほどの熱、ビリビリと電気を感じるなどの場合は、すぐに電源を切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く。
そのまま使用を続けると火災や感電、けがの原因になります。

雷が鳴り始めたら、本機、本機に接続されているケーブル類や機器に触れない。
感電の原因になります。

本機、ACアダプター、本機に接続されているケーブル類がぬれているときは乾くまで充電しない。
感電の原因になります。

病院内や、医療用電気機器付近では医療機関の指示に従う。
本機からの電波が誤動作事故の原因になります。

航空機に搭乗するときは、電源を切るか機内モードに設定する。
航空会社による機内での使用制限にしたがってください。

うらカバーを開けない。
分解・改造をしない。
内蔵バッテリーを取り出さない。
感電、発煙、発火の原因になります。

火中に投入しない。
電子レンジなどで加熱しない。
発火、破裂、火災の原因になります。

釘など鋭利なものを突き刺したり金づちなどを叩いたりしない。
内蔵バッテリーが傷つくと、発火、破裂、火災の原因になります。

油分・調味料・石鹼・洗剤・入浴剤・ブルー水・海水・温泉水・汗を含む液体や薬剤、金属物、燃えやすい物質を中に入れない。
感電や、部品の腐食・劣化または内部ショートによる発煙、故障、機能低下の原因になります。

野外、風呂場やシャワーチャンバーなど、水などの液体かかるおそれのある場所で使用や充電をしない。
感電の原因になります。

湯気、湿気、油煙、ホコリ、カビが多い場所、電磁気が強い場所で使用や保管をしない。
感電や発煙、発火、および故障・誤動作の原因になります。

本機を高温状態や熱のこもる環境で使用や保管をしない。
熱源付近、炎天下、晴天時の車内、直射日光があたる場所、熱がこもる環境で使用・保管すると、充電の強制休止、内蔵バッテリーの早期劣化による膨張や製品変形、または発火、火災の原因になります。

本機をくるまない、おおわないう、周囲をふさがない。
本機内部の熱は、本機の表面全体から排熱されています。排熱が妨げられ続けると、内部が異常に高温になり、充電の強制休止、内蔵バッテリーの早期劣化による膨張や製品変形、または発火、火災の原因になります。

△注意

- 長時間触れて使用しない。**
本機の発熱じたは異常ではありませんが、接触したままおやすみになると長時間接触し続けることは、低温やけどの原因になります。
- 液晶画面に衝撃を与えない、とがったもので傷つけない。**
表面のガラスが割れるのが原因になります。破損した画面からもれた液体が、顔や手などの皮膚や衣服などについたときはすぐに流水で洗い流してください。
- 指定の充電方法を守る。**
交流100V(50/60Hz)の電源コンセントに、本機付属の純正ACアダプターおよび純正電源ケーブルを用い、取扱説明書記載の方法で充電してください。指定以外の方法で充電すると、充電が進まない原因や、起動不良の原因、または発熱、発煙、発火の原因になります。
- 本機背面を壁などに密着付けしない、狭い空間に密封しない。**
排熱が妨げられ内部が高温になり、充電の強制休止、または内蔵バッテリーの早期劣化による膨張や製品変形の原因になります。

- 満充電状態でACアダプターを接続したまま長期放置しない。**
バッテリーによって負荷が大きい満充電付近の状態で、わずかな放電と充電がひんぱんに繰り返されるため、内蔵バッテリーの劣化が早まる原因になります。
- 充電中や電源ONの製品どうしを積み重ねない、接触させない。**
排熱が妨げられ内部が高温になり、充電の強制休止、または内蔵バッテリーの早期劣化による膨張や製品変形の原因になります。

- 充電が進みにくくなったり感じる場合は、充電を中止してバッテリー交換を依頼する。**
動作できても、バッテリー内に深刻な損傷が生じている場合は発熱、発煙、発火の原因になります。
- 落下げや強打など本機に強い衝撃が加わったら、使用をやめてバッテリー交換を依頼する。**
動作できても、バッテリー内に深刻な損傷が生じている場合は発熱、発煙、発火の原因になります。

- 充電残量ゼロで長期保管しない。**
保管中は約3ヶ月ごとに補充充電してください。残量ゼロのまま長期保管を続けると、バッテリーは製品を使用した期間にかかわらず過放電という寿命に至り、充電ができなくなります。過放電によってから無理に充電を続けると、膨張や製品変形、起動不良の原因になります。

- 寿命を迎えた内蔵バッテリーは、充電を中止してバッテリー交換を依頼する。**
バッテリーは消耗品です。使用期間にかかわらず満充電時に稼働できる時間が初期性能のおよそ50%まで低下していたり、充電が進みにくくなったら、バッテリーは寿命を迎えています。さらに充電を続けると、膨張や製品変形、起動不良の原因になります。

バッテリーの寿命到達時期は使用状況・頻度によって異なります。次項バッテリー(充電池)についてもお読みください。お客様自身によるバッテリーの交換はできません。裏面のPCカスタマーセンターへ、バッテリー交換(有料)をご依頼ください。

■ACアダプターについて(電源ケーブルを含みます)

警告

- 製品付属のACアダプターと電源ケーブルを使用する。**
発熱、発煙の原因になります。また、製品内蔵のバッテリーは早期寿命(過放電)に至る原因になります。
- 交流100V(50/60Hz)電源で使用する。**
指定外の電源のご使用は、感電、発煙、発火、火災の原因になります。

- 電源プラグにたまつホコリは取ってから使用する。**
壁コンセントとプラグとの間のホコリが空気中の湿気を吸収して漏電し、発火、火災の原因になります。
- ぬれた手で触れない。**
感電の原因になります。

- 製品と電源ケーブルの抜き挿しや、電源コンセントからの抜き挿しはプラグ部分を持っておこなう。**
ケーブルを持っておこなうと、断線やショートによる発煙、発火、火災の原因になります。
- 水などの液体がかかるおそれがある場所で充電をしない。**
感電の原因になります。

- 破損したACアダプターや電源ケーブルは使用しない。**
変形、割れ、傷がある場合は使用せず、PCカスタマーセンターからお取り寄せください(有料)。修復や修復品の使用はしないでください。感電、発煙、発火、火災の原因になります。
- 落とさない。強い圧力を加えない。**
破損や内部損傷が起きると感電、発煙、発火、火災の原因になります。

- 布などでくるまない、おおわないう、周囲をふさがない。**
発煙、発火、火災の原因になります。
- 電源プラグの付け根を無理に折り曲げない。**
断線、発煙、発火の原因になります。

- 満充電状態でACアダプターを接続したまま长期放置しない。**
製品内蔵のバッテリーによって負荷が大きい満充電付近の状態で、わずかな放電と充電がひんぱんに繰り返されるため、バッテリーの劣化が早まる原因になるほか、外のリスクも高まります。
- 電源ケーブルをACアダプターにまかない。**
断線、発煙、発火の原因になります。

取り扱い上のご注意

バッテリー(充電池*)について

※ここでバッテリーとは、充電をおこなうことにより電気を蓄え、繰り返し使用することができます。二次電池(充電池)をいいいます。

◆本機はリチウムイオンバッテリーの一種のリチウムイオンポリマーバッテリーを内蔵しています。

◆バッテリーは消耗品です。消耗品の交換は保証期間内・外にかかわらず有料です。

リチウムイオンバッテリーの特性

リチウムイオンバッテリーは従来方式のバッテリーと比べ①高出力&高出力密度②継ぎ足し充電ができる③自然放電が緩やか、などの長所を持つ、製品の大幅な小型軽量化を可能にする技術のひとつで、高出力化のための高度な安全対策が厳重に施されています。リチウムイオンバッテリーの特性を良く理解しておけば、バッテリーの寿命を長く保ち製品をより効率的に活用することができます。

サイクルとサイクル劣化

バッテリー性能容量の延べ100%ぶんの電力量を1回使用する単位を1サイクルといいます。例えば、短時間の継ぎ足し充電を何度も挟みながら、数日間かけて性能容量の100%の電力量を1回ぶん使用した場合でも、サイクルの進行は1回です。

次回に延べ100%として補充電できる電力量(次回の性能容量)は、バッテリー内部の化学反応により徐々に減少していきます。この、サイクル進行による性能容量の減少を「サイクル劣化」といいます。一般的には劣化や消耗と呼ばれます。

リチウムイオンバッテリーは、従来方式のバッテリーと比べてサイクル劣化の進行度合いや自然放電が緩やかになりましたが、いかなる場合であっても放電はおこなわれ、消耗や劣化じたいを避けることはできません。

バッテリーの寿命とバッテリーの交換時期

1. サイクル劣化による寿命

バッテリーはサイクル劣化により性能容量が徐々に減少していきます。バッテリーの寿命到達時期は製品の使用条件、使用環境や使用頻度により異なりますが、満充電時に稼働できる時間が製品仕様の稼働時間(初期性能)のおよそ50%以下まで低下すると、劣化の進行度合いがそれまでより急激になるリスクが高まります。

このことから、満充電時に稼働できる時間が初期性能のおよそ50%以下まで低下した時点が、内蔵バッテリーパックの交換時期(寿命)となります。同30%以下まで低下している場合は、製品の使用や充電をしないでください、バッテリーパックの膨張や製品変形の原因になります。

お客様自身によるバッテリー交換はできません。いずれの場合も、裏面のPCカスタマーセンターへバッテリー交換を依頼してください。

<バッテリーをより長持ちさせるには>

製品周囲の温度環境が35°C以上になると、製品内のリチウムイオンバッテリーの劣化の進行度合いが急激になるリスクが高まります。

また、製品内部の熱は製品の表面全体から排熱されています。高温環境や排熱が妨げられる環境での使用や保管は避けましょう。なお、バッテリー周囲の内部温度が45°Cを超えると、安全のため充電は強制休止します。

2. 過放電による寿命

リチウムイオンバッテリーは、充電残量がゼロになったまま長期保管すると、再充電できなくなったり(過放電)、充電が進みにくくなったりすることがあります。このような場合も、使用期間や頻度に関係なくバッテリーの寿命です。

過放電による寿命は製品の起動障害の原因になる場合もあります。

数時間充電を試みても充電が進みにくいため、充電を中止して、裏面のPCカスタマーセンターへバッテリー交換を依頼してください。

<バッテリーをより長持ちさせるには>

製品を使用中は充電残量がゼロにならぬ前の継ぎ足し充電を推奨いたします。残量がゼロにならぬと、数日のうちにバッテリーの劣化の進行が早まることがあります。製品を使用せず長期保管する際は、保管する前と以後約3ヶ月ごとに充電残量が55%(下限)-75%(上限)ぐらいになるよう補充充電してください。

3. バッテリー性能容量の確認

定期的に本機からACアダプターを取りはずし、バッテリーで稼働できる時間をお確かめください。

なお、特に指定されている製品を除き、製品へ長期間給電し続けることは避けてください。長期間給電状態にすることが、かえってバッテリーの劣化を早める場合があります。

寿命時のリチウムイオンポリマーバッテリーの膨張現象について

サイクル劣化や高温環境等による早期劣化、または過放電などによって寿命を超えたバッテリーの充電をおこなった場合、バッテリーパック内に電解質の酸化ガスが発生し、バッテリーパックが膨らむ場合があります。これはリチウムイオンポリマーバッテリーの特性で、不具合ではありません。バッテリーパックは厳重に密封されており、ガスが外部に漏れることはなく安全上の問題はありませんが、膨らんだバッテリーパックが製品内の他の部品を圧迫し、製品の誤動作や損傷の原因になることがあります。

少しでも製品の膨らみを感じたら使用や充電を中止し、速やかに裏面のPCカスタマーセンターへバッテリー交換を依頼してください。

JEITA「ノートパソコンやタブレットのバッテリーに関する基礎知識」もご覧ください。
<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121>

液晶ディスプレイについて

- ◆一部に点灯しない画素や常に点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によって色や明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのでそのままご使用ください。本機の有効ドット数(サブピクセル単位)の割合は99.99%以上です。
- ◆液晶ディスプレイおよび表面のタッチパネルは消耗品です。

タッチパネルについて

- 本機のタッチパネルは静電容量方式であり、特定の利用環境では高周波の電磁場の影響を受け一点のタッチに対して複数回の反応がある、またはタッチした場所と異なる場所が反応するなどの誤動作をする場合があります。これらを避けるために以下をお守りください。
- ・本機と高周波の発生源(蛍光灯など)を遠ざける。
- ・本機と高周波の発生源(蛍光灯など)の電源ケーブルを同じコンセントに接続しない。
- ・電源コンセントは接地を十分におこなう。

メンテナンスについて

- ◆本機内部に保存したデータなどは定期的にバックアップをお取りください。
- ◆本機の清掃には乾いた清潔な布などをご利用ください。消毒には本機の製品仕様書に耐薬性が記載されている薬剤をご使用ください。
- ◆本機はシンナー、ベンジンなど揮発性有機溶剤が含まれているもので拭かないでください。

サポートガイド

製品ご購入後の技術的なご質問、部品のお取り寄せ、バッテリーなどの消耗品や有寿命部品の交換(以下「部品交換」といいます)、故障・修理関連のお問い合わせ、リサイクルのお問い合わせなどのサポートサービスは「PCカスタマーセンター」が承ります。

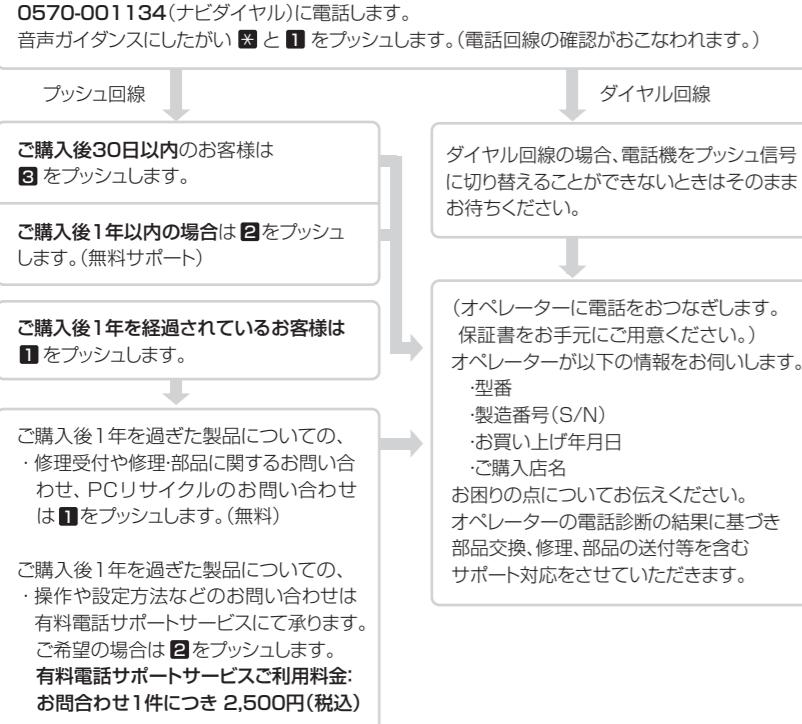
修理や部品交換をお申し込みになる際は「修理/部品交換について」をご覧ください。

PCカスタマーセンター 電話サポート窓口

0570-001134
ナビダイヤル®

9:30~18:00(月曜~金曜) *土日祝日、当社指定休業日を除く
*固定電話、携帯電話をご利用ください。(IP電話からはご利用になれません。)

サポートホームページ <https://ods.co.jp/support/pcsupport.html>



修理/部品交換について

当社は基本的に、修理および部品交換を取り扱う修理(コール&バックアップサービス)にておこないます。
*消耗品および有寿命部品の交換は保証期間内・外にかかわらず有料です。

修理/部品交換の流れ



1.電話受付

修理/部品交換はお電話のみの受け付けとなります。
修理依頼が保証期間外の場合、基本的に対象機器をお預かり後、診断作業を経て修理見積金額をお知らせします。修理はお客様のご了解を得たうえでおこないます。修理の過程で新たな故障原因または別の箇所の故障が判明した場合など提示した見積金額を変更する必要が生じた場合、速やかに再見積金額をお知らせし、改めてご了解を得たうえで修理を継続いたします。

消耗品・有寿命部品の一覧を含む当社修理規約は、次のWebサイトよりお確かめください。
<https://ods.co.jp/support/pcsupport/repair/kiyaku.html>

併せて、保証書裏面の保証規定もよくお読みください。保証規定に抵触している場合、または保証書の添付がない場合、保証期間内であっても有料修理となります。

消耗品の交換、または消耗品・有寿命部品のみの送付で対応可能な場合などは、対象機器をお預かりする前に概算金額の「先見積り」をおこないます。(一部機種を除きます。)ただし、電話診断だけでは判断がつかない場合はお預かりによる見積りが必要となりますのでご容赦ください。

2.お引取り

引取り訪問の時間帯は、午前中、12時~14時、14時~16時、16時~18時、18時~21時のうちからお選びいただけます。(一部、午前中と18時~21時の指定ができない地域があります。)

輸送事故防止の観点から、ご購入時の梱包箱でのお引取りが基本になります。(梱包箱はできるだけ保管しておいてください。)梱包箱へ本体、保証書、および「ケア・シート」、その他電話オペレーターから指示があった付属品等を同梱してご準備ください。

ケア・シートは本書内にございます。必ず記入のうえ添付をお願いいたします。

お手元にご購入時の梱包箱がない場合は、運送業者が訪問の際「当社指定梱包箱」にて梱包します。当社指定梱包箱の料金は、保証期間内・外にかかわらず有料ですのであらかじめご了承ください。この場合、お客様は本体、保証書、およびケア・シート等を玄関口までご用意ください。

3.修理

修理センターは、お客様から見積金額をご了解いただいたまでの期間を除き、お預かりの日から修理/部品交換完了後ご指定の場所へお届けする日まで、原則8日間で対応します。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合には、この限りではありませんのであらかじめご了承ください。

- ① お客様ご申告の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合
- ② お客様に確認が必要な事項が生じた場合
- ③ お引き取り先が一部地域(離島を含む)の場合
- ④ お客様のご都合により、修理/部品交換完了後のお届け日に日程変更等が生じた場合
- ⑤ 補修用性能部品(対象機器の機能・性能を維持するために必要な部品)が在庫切れの場合
- ⑥ 天災地変、暴動、内乱、輸送機関の事故、その他不可抗力の事由が生じた場合

4.お届け

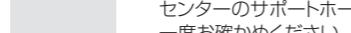
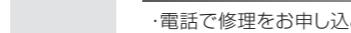
修理センターは修理/部品交換完了後お客様に連絡をいたします。対象機器に修理報告書を添付のうえ梱包し、当社手配運送業者によってお客様ご指定の日時・場所へお届けいたします。

■修理/部品交換に関するご注意

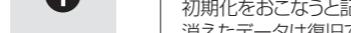
・サイバー攻撃、コンピューターウィルスにより生じた不具合の修理はできません。
・お預かりした製品について、申告症状が再現しない場合およびお客様都合で修理をキャンセルされた場合の返却にまつわる費用は、保証期間内・外にかかわらずお客様負担になります。
有料修理の場合は、診断作業工賃等が加算されます。あらかじめご了承ください。
・本体に貼られたラベルや、お客様自身が貼られたラベル類は修理の際に剥がすことがあります。
剥がしたもののは返却できませんのであらかじめご了承ください。
・修理/部品交換の際に取外した部品は、返却いたしません。
・故障原因の解析報告書の作成はおこないません。
・修理/部品交換期間中の代替機の貸し出し等はおこなっておりません。

「故障かな?と思ったら……

ステップ 1



ステップ 2



ステップ 3



修理/部品交換について

当社は基本的に、修理および部品交換を取り扱う修理(コール&バックアップサービス)にておこないます。

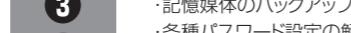
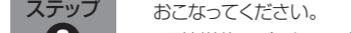
*消耗品および有寿命部品の交換は保証期間内・外にかかわらず有料です。

修理/部品交換の流れ

修理/部品交換について



修理/部品交換について



修理/部品交換について

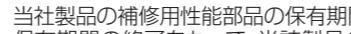


修理/部品交換について

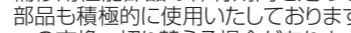
修理/部品交換はお電話のみの受け付けとなります。

修理依頼が保証期間外の場合、基本的に対象機器をお預かり後、診断作業を経て修理見積金額をお知らせします。修理はお客様のご了解を得たうえでおこないます。修理の過程で新たな故障原因または別の箇所の故障が判明した場合など提示した見積金額を変更する必要が生じた場合、速やかに再見積金額をお知らせし、改めてご了解を得たうえで修理を継続いたします。

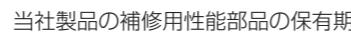
修理/部品交換について



修理/部品交換について



修理/部品交換について



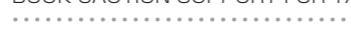
修理/部品交換について



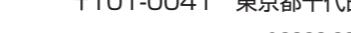
修理/部品交換について



修理/部品交換について



修理/部品交換について



修理/部品交換について



修理/部品交換について

修理/部品交換について

